

食器再利用の粘土使い

津

児童「カップできた」

草



リサイクルした粘土でマグカップを作る子どもたち
(草津市・中部近鉄百貨店草津店)

る「グリーンライフ21プロジェクト」が開発した。地球環境問題の解決に貢献する百件の技術を選ば「愛・地球賞」も受賞している。

リサイクルについて深く知ってもらおうと、同プロジェクトに参加している草津市の清掃会社「大五産業」と、同百貨店が企画した。会場では、子どもたちが、リサイクル粘土を成形し、名前を入れたり、模様を描いたりしオリジナルのマグカップを作った。メーカーが売り物にならないと判断し、通常なら廃棄する食器に絵付けをするコーナーもあり、参加者は陶磁器のリサイクルについて理解を深めていた。

不用になった陶磁器製

の食器をリサイクルした粘土で新たに食器を作る体験イベントが三十日、草津市の中部近鉄百貨店草津店で開かれ、市内の小学生らがマグカップを

作った。

不用な陶磁器を細かく破碎し、土などと混ぜて再び食器を作る技術は、岐阜県多治見市の県セラミックス技術研究所や企業、研究機関などでつく